

2010年12月4日

会員・関係 各位

特定非営利活動法人 KHJ 香川県オリーブの会

連絡先 TEL・FAX 087-843-9877 (川井)

ホームページ <http://khj-olive.com/>

今年もあわただしく過ぎ去ろうとしておりますが、皆様お変わりございませんでしょうか。

去る11月13日・14日開催の東京大会での基調講演「新ガイドラインの目指す意義」(国立国際医療センター齋藤万比古氏)の中で、「ひきこもり」がメンタルヘルスの問題であり、個々の精神障害の特性を把握することを評価の中心に据えるべきと提案され、この「精神障害」には国際的な診断基準であるDSM-IVやICD-10に含まれる全ての障害概念が含まれます。ひきこもり当事者を支援するという事は社会を変えることであるとする遠大な戦略を議論する前に、いま現に苦しんでいる当事者あるいは家族を現実的に支援するため、当事者のメンタルヘルス上の苦悩に光を当てる事が有益であると考えていたのです。新ガイドラインは支援法についても多くの指針を示していますが、地域関係機関の連携ネットワーク、訪問支援、就労支援などを有効に組み合わせた段階的で多次元的な支援の組み立てと展開を支援の全体像として提案しています。そのような総合的な支援こそ当事者や親が今すぐにでも必要としている支援だと思えます。以上(研修資料より抜粋掲載)

ひきこもり支援講演会&若者トークを下記のとおり開催いたしますので御案内申し上げます。

ひきこもり支援講演会&若者トーク

1) 日時 12月19日(日)(ご家族のご参加お待ちいたしております)

13:00~13:25 受付

13:25~13:30 挨拶

13:30~15:00 【一部】講演

テーマ「子ども・若者育成支援推進法から見た支援とは！」

講師 NPO 法人京都オレンジの会 理事

京都府ハートフル・サポートセンター チーフPS

山田 孝明 氏

質疑応答あり

15:00~15:15 休憩

15:15~16:30 【二部】

「今 若者たちが語る」

体験者 2~3名

2) 場所 香川県社会福祉総合センター 6階 研修室(案内図チラシ参照)

TEL 087-835-3334 県庁の斜め向い

3) 参加費 無料 (財団法人 倶進会より助成を受けています)

【今後の月例会】

1月23日(日) 香川県社会福祉総合センター 6F (13:30~16:30)

2月20日(日) 香川県社会福祉総合センター 6F (13:30~16:30)

【居場所活動予定】

12月11日(土) ・ 18日(土) (13:30~16:00)

ポパイの会・パソコン教室 (指導 森下氏・井上氏)

12月11日(土) 松田勝先生 個人カウンセリング (9:00~13:00)

【ポパイの会(若者グループ)から】

前回のパソコン教室では Google のサイトを開いて『オリーブの会』とキーワードを入力し、検索結果からオリーブの会のホームページを開き、ホームページに記載されているオリーブの会の住所を使って、Google マップ検索からオリーブの会の地図を表示したり、Google マップを使って、色々な場所の住所や名前を入力、ストリートビューを使った道路からの風景の見方や、衛星写真の見方、地図のズームイン・ズームアウトなどの操作方法を習った。

また、正確な住所などがわからない海外の場所などを、経度・緯度情報を使って検索する方法、その他に、検索オプションを利用して、特定ドメインのサイト内のみを検索したり、ページの更新時期を絞って検索したり、特定のファイルのみを検索するなどの様々な検索方法があることを教えてもらい、インターネットでの情報検索を体験した。

前回、途中で終了していたワード文書作成の続きで、Google マップから地図を取り込み、文書に地図を貼り付けて完成させ印刷をした。

【11/30(火)第3回ひきこもり対策チーム会議開催】(概要)

去る11月30日(火)県庁に於いて第3回ひきこもり対策チーム会議が開催されました。障害福祉課久保賀津彦課長補佐のあいさつの中で、事例検討を通じてひきこもり問題の難しさを感じていると、また「ひきこもり地域支援センター」については来年度の予算と人員の要求をしているので、次回の会議には何らかの報告ができると述べられた。その後、(1)新規事例について説明があり検討されました。本人の日常の行動、状態から家族が受診を望んでも本人が受け入れない、親の会でも多くの方が抱えている問題で、医療にどう繋げるか検討された。かなり時間がかかること。往診(精神科医)も本人が拒否するので簡単でないこと。親に本人を理解してもらうには難しいが、家族にその役割をお願いしてはどうか。藤岡邦子所長(精神保健福祉センター)からは、偏見が強いので認識の概念で遅らせているのではないかと、診察を受ける必要性がないかと詰めていく、結論だけ急いで駄目だと思ふと助言がありました。(2)また前回の検討された事例について、その後どのような関わりをもち対応したか、現在の本人の状態、家族の状況など報告があった。支援方法が変わるとまた同じことを家族に聞くことになり、時間を要し家族の心境の変化もあり支援が遅れるという問題点など話し合われました。

休憩後、(3)「公的機関において相談業務に当たる職員の資質向上を図るための研修」から特に、「不登校と高校中退者への支援」「ひきこもりから見た不登校 学校・社会ができること」についての報告(教育センター教育相談課課長 岡みゆき氏)と「家族支援 ~自立に向けた能動的支援とは~」「ひきこもり当事者に対する支援 ~アウトリーチの有効性とその手段~」(西讃保健福祉事務所保健師 植田ちひろ氏)について資料に沿った報告があった。(資料あり)

また(4)意見交換のなかで、松田先生から現実はいざいごとではすまされないこと。予想もしな

いことも起きること。「ひきこもり地域支援センター」設置の前に、香川県ではひきこもり対策チーム会議ができ事例検討をとおして先に関係機関の連携ができているのを他県から評価されていること、「ひきこもり地域支援センター」と同じ場所に若者の「居場所」を設置しても若者の参加が少なくて困っている県があること、ひきこもりの若者が働ける場所作り(居場所兼)についても高知県の動向など紹介され、香川はこの会を母体にして立ち上げましょうと提案、参加者の中にも是非やりましょうとの声もあがり、どうなるか分かりませんが大変心強く感じました。

<http://www8.cao.go.jp/youth/bosyu/soudan/bosyu.html> (青少年育成ホームページに募集要項掲載)

(5) その他各機関からの情報提供(香川県発達障害者支援センター『アルプスかがわ』公開講座
発達障害のある人の職業的課題と就労支援 講師 小川 浩(大妻女子大学 人間関係学部 教授・NPO 法人ジョブ・コーチ・ネットワーク 理事長) 日時:平成22年12月13日(月)13時30分~15時30分
場所:サンメッセ香川2F大会議室 入場:無料

事前の申し込みが必要(12月6日まで)ですが時間がありませので、FAX用申込書も同封しています。

以上(川井)

【前回の月例会(11月28日(日))より】 概略

当事者シンポジウム テーマ「ひきこもりからの新たな旅立ち」

ファシリテーター: NPO 法人グローバル・シップスこうべ 代表 森下 徹

発表: 若者

1. 自己紹介

A: PC修理、HP作成、ユースケアネットのアシスタントなどしている。2006年夏体験発表した。

B: 都合により削除しました。

C: 都合により削除しました。

D: 都合により削除しました。

2. 小さい頃(ひきこもるまで)はどんな子だったか

A: 大人しく勉強はそこそこできた。同年代の子と遊べない。発達障害かと思ったりもする。

B: 都合により削除しました。

C: 都合により削除しました。

D: 都合により削除しました。

3. ひきこもるきっかけ

A: 浪人中何のために生きていくのか考えだし学校へ行けなくなった。

完全なひきこもりではなく近所へは行けていた。強迫神経症。

B: 都合により削除しました。

C: 都合により削除しました。

D: 都合により削除しました。

4. 外へ出るきっかけ

A: 家を出たい、大学に進学するが強迫神経症がひどくなる。教員の免許をとりたいと思う。親からの仕送りが滞りがちになった。さみしい、神戸イシスに行くことになる。

B: 都合により削除しました。

C: 都合により削除しました。

5. ひきこもりについて思うこと

A：教育、医療、福祉、哲学的なものも含んでいる。語る場所を増やしていきたい。今の社会のシステムを乱すことがあり、排除される面もあるのかなと思っている。

B：都合により削除しました。

C：都合により削除しました。

D：都合により削除しました。

6．これからの夢

A：当事者の声を伝えるしゃべり場のようなものができればと思う。仲間を応援するようなこと。

B：都合により削除しました。

C：都合により削除しました。

以上